

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和6年10月2日(2024.10.2)

【公開番号】特開2023-94958(P2023-94958A)

【公開日】令和5年7月6日(2023.7.6)

【年通号数】公開公報(特許)2023-126

【出願番号】特願2021-210580(P2021-210580)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/47(2006.01)

A 6 1 F 13/494(2006.01)

A 6 1 F 13/505(2006.01)

A 6 1 F 13/56(2006.01)

10

【FI】

A 6 1 F 13/47 1 0 0

A 6 1 F 13/494 1 1 1

A 6 1 F 13/505 1 0 0

A 6 1 F 13/56 2 0 0

【手続補正書】

20

【提出日】令和6年9月20日(2024.9.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

着用者の腰周りに装着される環状のホルダに着脱可能に固定されて使用可能な吸収性パッドであって、

30

前記吸収性パッドは、装着状態において着用者の肌に近い側に位置する表面シートと、着用者の肌から遠い側に位置する裏面シートと、両シート間に位置する吸収体を備え、着用者の前後方向に対応する縦方向及び該縦方向に直交する横方向を有し、

前記横方向の側部に、前記縦方向に延びる第1防漏カフを有し、

第1防漏カフは、前記吸収性パッドの装着時に着用者の肌に向かって起立する起立部を有し、

前記縦方向の腹側または背側の少なくとも一方の端部に、前記横方向に延びる第2防漏カフを有し、

前記第1防漏カフと前記第2防漏カフとが交差しており、

前記第1防漏カフ及び前記第2防漏カフが交差する領域において、該第1防漏カフは前記横方向の外方に向けて倒伏しており、

40

前記第1防漏カフ及び前記第2防漏カフが交差する領域において、該第1防漏カフ上に該第2防漏カフが重なった状態で、該第1防漏カフにおける前記起立部と該第2防漏カフとが接合された接合領域を有し、

前記第2防漏カフは、第2弾性部材が第2防漏シートに配されて構成されており、

前記第2防漏カフは、前記第2弾性部材が前記第2防漏シートに固定された固定領域を備え、

前記第2弾性部材の前記固定領域は、平面視において、前記接合領域とは互いに重ならないように配されており、

前記第2弾性部材の両端部は、前記接合領域に達しておらず、該接合領域よりも前記横方

50

向の内方に該第 2 弾性部材の前記固定領域が配されている、吸収性パッド。

【請求項 2】

前記縦方向の端部に、前記ホルダとの着脱が可能なパッド側止着構造を有する、請求項 1 に記載の吸収性パッド。

【請求項 3】

前記パッド側止着構造は、前記横方向に延びており、

前記第 1 防漏カフと前記止着構造とが少なくとも部分的に重なっている、請求項 2 に記載の吸収性パッド。

【請求項 4】

前記第 1 防漏カフ及び前記第 2 防漏カフが交差する領域において、該第 1 防漏カフは前記横方向の外方に向けて倒伏しており、

倒伏した前記第 1 防漏カフ上に前記第 2 防漏カフが重なった状態で、両防漏カフが接合されている、請求項 1 ないし 3 のいずれか一項に記載の吸収性パッド。

【請求項 5】

前記第 1 防漏カフは、前記縦方向に延びる第 1 弾性部材が第 1 防漏シートに配されて構成されており、

前記第 1 防漏カフは、前記第 1 弾性部材が前記第 1 防漏シートに固定された固定領域を備え、

前記第 1 弾性部材の前記固定領域と両防漏カフの前記接合領域とは互いに重ならない、請求項 1 ないし 4 のいずれか一項に記載の吸収性パッド。

【請求項 6】

前記第 1 弾性部材の前記固定領域の平面視において、すべての該第 1 弾性部材が前記接合領域と互いに重ならないように配されている、請求項 5 に記載の吸収性パッド。

【請求項 7】

前記第 1 防漏カフは、前記縦方向に延びる複数の第 1 弾性部材が前記横方向に並列して配されており、

前記横方向の外方に位置する第 1 弾性部材の伸長倍率は、前記横方向の内方に位置する該第 1 弾性部材の伸長倍率よりも高い、請求項 1 ないし 6 のいずれか一項に記載の吸収性パッド。

【請求項 8】

前記第 1 防漏カフよりも前記横方向の外方の位置に、前記縦方向に沿って延びるレッグカフを有し、

前記レッグカフと前記第 2 防漏カフとが交差していない、請求項 1 ないし 7 のいずれか一項に記載の吸収性パッド。

【請求項 9】

前記縦方向に沿って見たときに、前記レッグカフと前記止着構造とが重なっていない、請求項 8 に記載の吸収性パッド。

【請求項 10】

前記縦方向における前記第 1 防漏カフの伸縮応力が、前記縦方向における前記レッグカフの伸縮応力よりも高い、請求項 8 又は 9 に記載の吸収性パッド。

【請求項 11】

前記レッグカフは、前記吸収体の側縁よりも前記横方向の外方に位置している、請求項 8 ないし 10 のいずれか一項に記載の吸収性パッド。

【請求項 12】

請求項 1 ないし 11 のいずれか一項に記載の吸収性パッドと、

着用者の腰周りに装着される環状のホルダと、  
を備える吸収性物品。

10

20

30

40

50